

検査内容変更のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目について、検査内容を変更させていただきたくご案内いたします。

記

■実施日 平成30年12月 6日(木) ご依頼分より

■変更理由

現試薬販売中止に伴う同一メーカー試薬への変更のため

■変更内容

案内書掲載頁	項目コード	検査項目	変更内容	新	現
32	4374-02	抗 IA-2 抗体	項目コード	6454-02	4374-02
			検査方法	ELISA	RIA
			基準範囲* (単位)	0.6未満(U/mL)	0.4未満(U/mL)
			参考カットオフ値*	なし	1.0(U/mL)
			報告日数	3~7日	3~10日

*参考カットオフ値はELISA法採用に伴い再設定され、基準範囲(海外基準)と同一になりました。

<留意事項>

- 抗IA-2抗体のELISA法への方法変更に伴い、日本糖尿病学会より推奨される対処文章が出されています。
日本糖尿病学会ホームページ：[「IA-2抗体測定法の変更への対処法に関するRecommendation」](#)
- 上記変更に伴い疾患別検査ガイド糖尿病(2018年8月発刊)の糖尿病診療フローチャートの抗IA-2抗体基準測定値の掲載が変更となります。

< 詳細は裏面参照 >

● 抗IA-2抗体

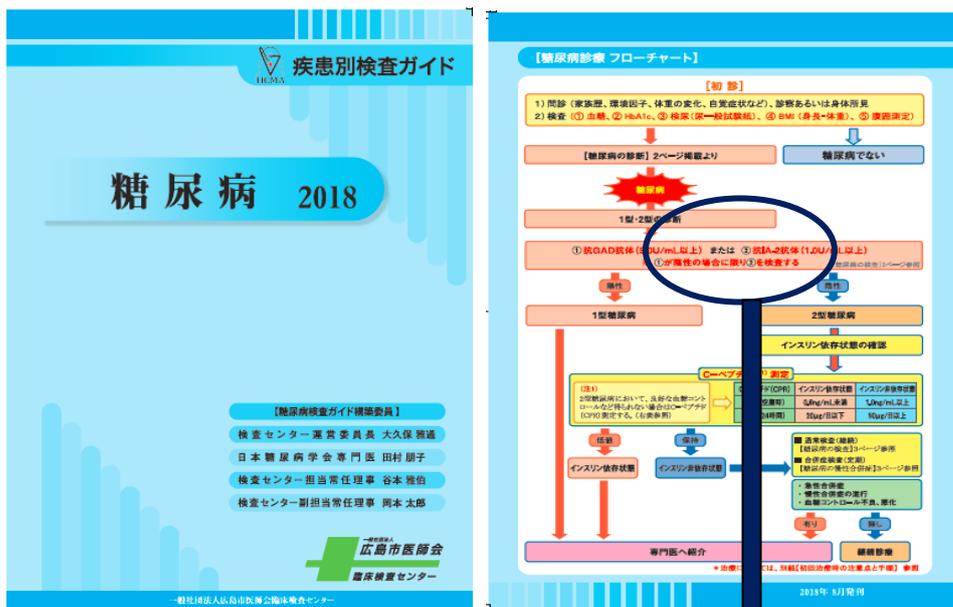
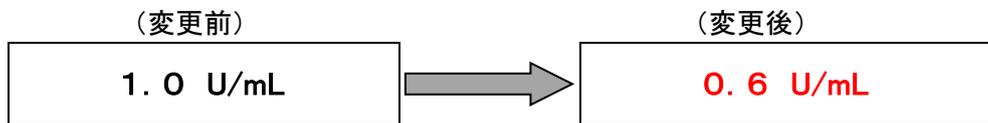
1型糖尿病は、劇症1型糖尿病、急性発症1型糖尿病、緩徐進行1型糖尿病(SPIDDM)の3つに分類されます。このうち、緩徐進行1型糖尿病(SPIDDM)は2型糖尿病と類似した臨床像を呈しますが、治療法が異なるため、適切な治療のためには病型の判別が重要となります。

その診断には膵島関連自己抗体の測定が必要ですが、陽性率の高い抗GAD抗体の陰性例において、抗IA-2抗体陽性の場合には、緩徐進行1型糖尿病(SPIDDM)の可能性がります。

抗IA-2抗体は、2018年4月診療報酬改訂により「30歳未満」に限る年齢制限がなくなり、30歳以上であっても、抗GAD抗体陰性患者の1型糖尿病の診断に用いることができるようになりました。

● 疾患別検査ガイド糖尿病の変更について

- * 抗IA-2抗体の基準範囲変更に伴い、下記に示す掲載値が変更となります。
お手順をお掛けいたしますが、お手持ちの疾患別検査ガイド糖尿病の修正をお願い致します。



① 抗GAD抗体 (5.0U/mL以上) または ② 抗IA-2抗体 (1.0U/mL以上)

※ ①が陰性の場合に限り②を検査する

[糖尿病の検査]3ページ参照

抗IA-2抗体 (0.6U/mL以上)